

アジア・ダイジェスト 日本語版

防衛関連コンテンツ

AVIATION WEEK
Intelligence
NETWORK

FleetDiscovery

AVIATION WEEK
Fleet&MRO
FORECASTS

予算削減が B-21 およびミサイル警戒システムの遅れを招く可能性、国防総省が警告



国防予算が 2022 年の水準に削減される可能性を受け、国防総省は議会への新たな書簡の中で、B-21 およびセンチネル核プログラムが大幅に遅れる上、さらに宇宙ベースのミサイル警戒プログラムが広範囲に削減されることになると警告しています。

この予算削減案は、1月に Kevin McCarthy 下院議長（共和党、カリフォルニア州）が下院フリーダム・コーカスと協議する中で報じられました。国防総省の会計検査官である Mike McCord 氏は、下院歳出委員会国防小委員会の上級議員である Rosa DeLauro 氏（民主党、コネチカット州）に宛てた 3 月 17 日付けの書簡の中で、新たに公表された 2024 年の国防予算要求額 8420 億ドルから 737 億ドルの削減になる見込みであると主張しています。

具体的には、地上配備型の戦略抑止力システム・センチネルや、ノースロップ・グラマン B-21 を含む核近代化プログラムが 40%削減される可能性を挙げており、B-21 が初期低率生産を開始するにあたり「大幅な混乱と遅れ」が生じることになると McCord 氏は書いています。

[続きを読む](#)

AVIATION WEEK
Intelligence
NETWORK

最新かつ正確な情報入手

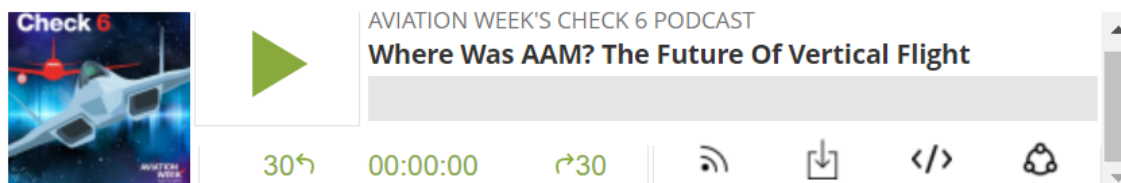
有料会員になる

AVIATION
WEEK
NETWORK

注目マーケット：次世代空モビリティ/宇宙関連技術コンテンツ



ポッドキャスト：AAM はどこに？ eVTOL の未来



回転翼機は大きな変革期を迎えていますが、eVTOL 機メーカーは Heli-Expo ではほとんど目立ちませんでした。

Aviation Week の Joe Anselmo、Guy Norris、Tony Osborne が、ショーから得られた主要なテーマについて議論します。

[続きを読む](#)

Aviation Week フリート
情報&インテリジェンスソ
リューション

マーケット参入に
向けた情報収集
をお手伝いいた



[詳しくはこちら](#)

**AVIATION
WEEK**
NETWORK

航空輸送関連コンテンツ



2023 年 1 月、航空貨物は軟調な滑り出しーラテンアメリカを除くすべての地域で減少



過去には、貨物部門の低迷が旅客部門の低迷の前触れだったことがあり、CAPA は 2022 年 6 月、当時発表された統計に基づいて再びその可能性について報告しました。

ただし、それはまだ起こっていません。むしろ実際にはその逆の状況で、世界のほとんどの地域でコロナ後は旅客部門の回復が続いています。

一方、2023 年 1 月の IATA のデータによると貨物部門では低迷が続いており、ほとんどの地域で需要が減少し、また半分の地域では供給も減少しています。そんな中、ラテンアメリカだけは需要・供給ともに増加している地域ですが、全体にさほど大きな影響を与えるものではありません。

根本的な問題は、通常なら世界で同時発生することはないような、マイナス要因の組み合わせが引き起こす不確実性です。これは、ブラックスワンが世界の滑走路に次々と現れ、動かなくなるような状況とでもいえるでしょう。これに伴い、未来予想が多くの変数に左右される時代に突入し、その信頼性は当てずっぽうとさほど変わらないほどになっています。

続きを読む



FREE WEBINAR

Future of Flight: Achieving Sustained Advanced Air Mobility (AAM) Operations

Thursday, March 30, 2023 | 2:00 PM SGT | 7:00 AM BST

REGISTER

Sponsored by

 **IFS**

Produced by

AVIATION WEEK
NETWORK

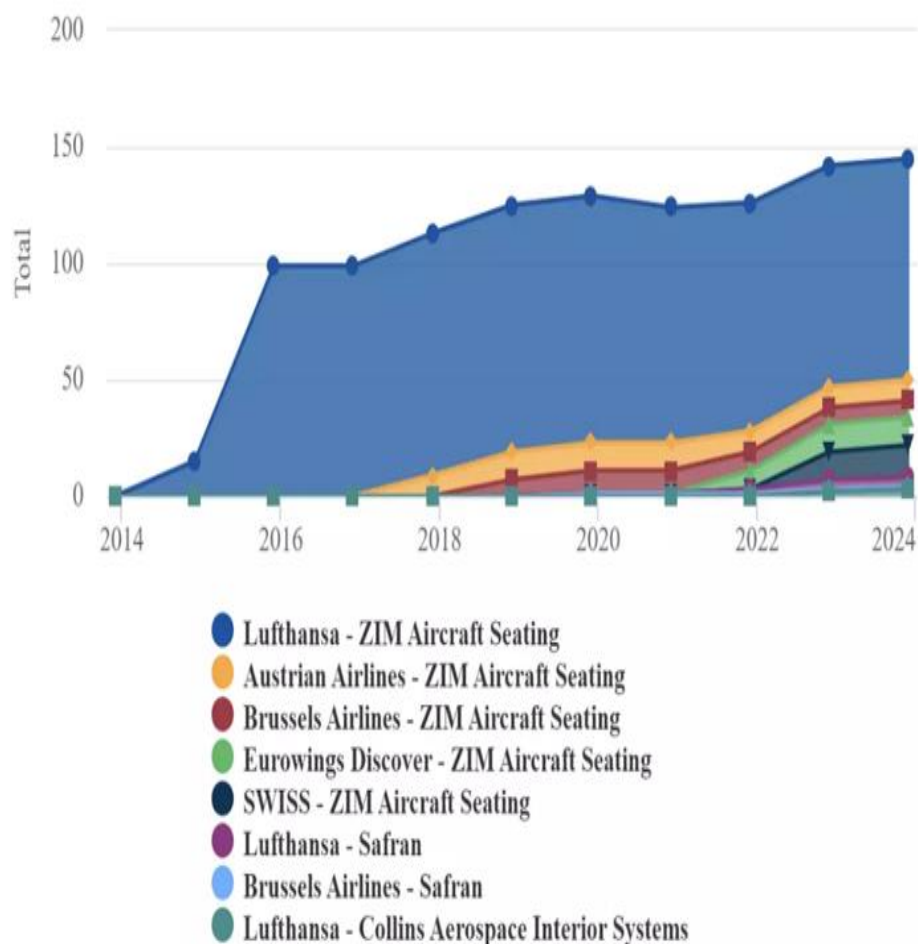
次世代空モビリティ（AAM）業界は、次世代航空機（Advanced Air Vehicle : AAV）技術のブレイクスルーに伴って発展し、開発の焦点は機体開発から持続可能な運用モデルの検討に移行しつつあります。こうした中、AAM の成長ポテンシャルを最大限に引き出すためには、エコシステム全体で克服しなければならないいくつかの課題が存在します。

このオンラインセミナーでは、メーカー・オペレーター・サポートプロバイダーそれぞれが、航空新時代を実現するために考慮すべき点について概要を説明します。

お申し込みはこちら

注目データ

Count of Lufthansa Group current fleet with premium economy installed for decade, Mar-2013 to Mar-2023



Source: CAPA Aircraft Interiors Database.

航空機インテリア業界の開発動向：2023年1月/2月 プレミアムエコノミーの拡大が続く

2021年末に中東で初めてプレミアムエコノミーを導入したエミレーツ航空は先日、最初のプレミアムエコノミー改装を完了しました。これまでのところ、このキャabinは最新の6機のA380にしか搭載されていませんでした。

同社は、今後数年間で全機にプレミアムエコノミーを導入する見込みです。

ヨーロッパでは、KLM オランダ航空とスイス航空が、長距離線機材にプレミアムエコノミーを導入する作業を進めています。

同様に、KLM は 2023 年以降、787-10 および 787-9 へのプレミアムエコノミー導入に焦点を当てています。

また、ルフトハンザ・グループ傘下のスイス航空は、777-300ER への導入が完了した後、A340-300 でプレミアムエコノミーの運用を開始しました。

ルフトハンザグループは、ヨーロッパ最大の航空会社グループであり、2014 年にプレミアムエコノミーの提供を始めました。ルフトハンザ航空の 747-8 が 2014 年第 4 四半期に新シートを最初に装備し、その後オーストリア航空、ブリュッセル航空、ユーロウイングス・ディスカバーが続きました。

スイス航空は、グループ内で最後にプレミアムエコノミーキャビン（2022 年に 777-300ER でデビュー）を発表する航空会社となりました。

プレミアムエコノミーの導入では後手に回ったスイス航空でしたが、ルフトハンザグループの新しいプレミアムエコノミーシート「Allegris」の導入第 1 号でもあります。なお、ルフトハンザグループが現在および将来で使用しているプレミアムエコノミーシートの大半は、ドイツの座席サプライヤーである ZIM Aircraft Seating によって製造されています。

[今すぐダウンロード](#)



配備中の軍用機、約 70,000 機の詳細な情報にアクセス。Fleet Discovery Military を用いて、世界の軍用機や搭載エンジンの動向を把握し、事業成長につながるビジネスチャンス特定しましょう。

[詳しくはこちら](#)

フォローする:



belinda.tan@informa.com, 宛てのニュースレターの購読登録を完了しました。受信箱に届かない場合は、news@enews.aviationweek.com をアドレス登録してください。

[click here](#) ニュースレターの購読を解除するにはこちらをクリックしてください。

[ご質問やご不明な点がありましたら、弊社カスタマーサービスまでご連絡ください。](#)

[このニュースレターでの広告やその他のデジタル・オポチュニティについては、ここをクリックして詳細をご覧ください。](#)

Aviation Week Network | I インフォーマ・マーケット | 605 Third Avenue, 22nd Floor, New York, NY 10158
| [個人情報保護方針](#)



By Informa Markets